

平成22年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費

1項 農業費

6目 農作物対策費 <地方機関計上予算>

東部総合事務所農林局 (0857-20-3552)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 梨赤星病撲滅対策支援事業	789	0	789				789	
トータルコスト	1,596千円 (前年度 0円) [正職員:0.1人]							
主な業務内容	周知説明、発生予察、効果検証、補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	地域の農業振興を図るための環境作り (地域特産物の生産振興支援)							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取市福部町で多大な被害を与えている「梨赤星病」の被害軽減対策に対して支援する。

2 主な事業内容

(1) 適期防除支援事業

・発生予察

防除適期を把握するため、赤星病の宿主であるビャクシン類(貝塚伊吹)の冬孢子及び梨のサビ孢子形成状況を調査する。

・薬剤防除助成

事業区分	事業内容	事業主体	事業費	予算額	補助率
ビャクシン類に対する薬剤防除	赤星病の孢子形成が行われる前(3月下旬~4月上旬)の一斉防除に要する経費を助成	鳥取いなば農業協同組合福部支店	1,627	543	県 1/3
梨に対する薬剤防除	梨に対する赤星病の追加防除(5月上旬、3回目)に要する薬剤経費を助成		738	246	
合計			2,365	789	

(2) 品目転換支援事業

・ビャクシン類にごく隣接した梨園に対して、ブドウ等への品目転換を推進する。(単市事業)

(3) 啓発活動

・ビャクシン類を植えている所有者等及び販売業者への協力要請、ビャクシン類の新たな植栽防止等を啓発する。

(4) 防除効果の検証

・防除効果を検証し、既存のビャクシン類の樹種転換の必要性を検討する。

3 これまでの取組状況、改善点

・県内の赤星病は過去の撲滅運動等により大きな問題にはなっていないが、近年福部町の観光梨園を中心に被害が多発

・梨園と近接して中間宿主となるビャクシン類が新興住宅地等を中心に植えられており、越冬孢子の発生源となっている可能性大

・JA鳥取いなば福部梨生産部を中心に関係者で実態調査を開始

・梨生産者に対する防除指導を実施しているが、近年ビャクシン類が増加しており、梨に対する防除だけでは対応できなくなっているため、新規事業による総合的な対策を支援する。